

Ⅱ 社会参加・共生推進学習事業の概要

社会参加の機会が少ない市民を対象に、社会参加を促進するための支援学習を行った。外国人市民等（外国人市民や帰国した日本人市民）が日常生活に必要な日本語などを学ぶ識字学習活動、国語・数学などを中心に中学校課程の基礎的知識と教養を学ぶ社会人学級、障がいのある人の余暇活動と社会参加をめざす障がい者社会参加学習活動等の事業を各区の地域性を活かしながら実施した。



1 識字学習活動

識字学習活動は、外国人市民等が日本での生活を円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身につける場であり、支援する場である。1985（昭和60）年から中原市民館で実施していた社会人学級の日本語科（夜間）を国際識字年である1990（平成2）年に識字学級として独立させ、さらに午前の学級を新たに開設した。その後、1992（平成4）年に麻生市民館、1993（平成5）年に教育文化会館田島分館、幸市民館で順次開設し、1996（平成8）年からは全市民館で実施されるようになった。各館では識字・日本語ボランティアが学習のみならず日常生活を支援している姿が見られる。学習者は異文化理解への協力者として地域（学校）などで活躍し、識字・日本語学級の意義を地域で広めている。なお、識字・日本語ボランティア活動にあたる人々の活動の指針となるガイドライン『川崎市識字・日本語学習活動の指針』（2003（平成15）年3月）が市民参加により策定され、活動のよりどころとなっている。

2 識字ボランティア研修

『川崎市識字・日本語学習活動の指針』『川崎市外国人教育基本方針—多文化共生の社会をめざして—』に基づき、識字（日本語）学級の学習者と支援者（ボランティア）の学び合う関係づくり、ボランティアの資質の向上、共に生きる地域社会の創造をめざして実施した。2013（平成25）年度も分館を除く全館で、新しくボランティアになりたい人向けの入門研修とすでにボランティア活動を行っている人向けのブラッシュアップ研修の両者またはいずれかが行われた。2004（平成16）年3月に川崎市識字学級研究開発委員会によりワークショップ（参加体験型学習）等の研修の試案が提案され、2006（平成18）年度から、南・中・北部の各地域単位での実践がなされている。

3 社会人学級

中学校を卒業しているが、様々な事情で十分な学習ができなかった人を対象に、日常生活に必要な中学校課程の基礎的な知識、教養を学ぶ機会を提供するため、中原市民館で1982（昭和57）年に開設した。2002（平成14）年度から会場を教育文化会館に移して開設し、2014（平成26）年度も国語、数学、特別科目（英語、音楽）の学習を行った。

4 障がい者社会参加学習活動

障がい（主に知的障がい）のある青年を対象に、社会参加に必要な知識・技能の向上を図り、地域の中で交流を深めることをめざして、1966（昭和41）年に産業文化会館（現教育文化会館）で初めて開設した。1998（平成10）年には、全市民館で実施されるようになったが、一部の館では、ボランティアスタッフの人数に対して参加希望者が多く、人数制限せざるを得ない状況にある。現状では、参加者自身が一人で通える場合に限定している館が多いが、精神に障がいがある人、重度や在宅の障がい者への学習提供のあり方や当事者の参画など課題は多い。

5 障がい者ボランティア研修

障がい者の理解やボランティア活動のあり方などの研修を行い、障がい者が学習する権利の保障と充実、障がい者の学習に関わるボランティアの人権意識の向上を目指して実施している。「障害者ボランティアリーダー研修」として1997（平成9）年度から開設し、全市の障がい者社会参加学習活動のボランティアが対象となっている。

Ⅱ 1 識字学習活動

教文（水曜日夜間コース）

開設期間	4月16日（水）～3月18日（水）19:00～21:00 合計40回		
ボランティア	日本語支援	44人	保育 2人
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・サマーパーティー（6/29）参加者63人 ・浴衣を着る会（7/2）・交流イベント（10/8） ・ウィンターパーティー（12/21）参加者59人 		

幸（水曜日昼間コース）

開設期間	4月23日（水）～3月11日（水）10:00～11:30 合計35回		
ボランティア	日本語支援	16人	保育 13人（キャンディ）
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のイベント（7/9）東芝未来科学館見学 参加者45人 ・冬のイベント（12/10）世界おもしろクイズ、あいうえおビンゴ、チャリゲーム 参加者40人 ・漢字の練習 協力 にほんごワールド ・日本語学級、にほんごワールド、市民館担当で日本語学習課題の連絡、協議 		

幸（木曜日夜間コース）

開設期間	4月10日（木）～3月12日（木）19:00～20:30 合計35回		
ボランティア	日本語支援	13人	保育 なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のイベント（7/24）書道体験 参加者24人 ・冬のイベント（12/11）華道体験 参加者32人 		

中原（火曜日昼間コース）

開設期間	4月15日（火）～3月10日（火）10:00～12:00 合計31回		
ボランティア	日本語支援	27人（ことばの木）	保育 なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会（6/10）参加者24人 ・料理教室（10/21）参加者24人 ・お楽しみ会（12/9）参加者22人 ・文集作成（3月） 		

中原（火曜日夜間コース）

開設期間	4月8日（火）～3月10日（火）18:30～20:30 合計34回		
ボランティア	日本語支援	20人（はらっぱ）	保育 なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のイベント（7/8）参加者22人 ・日帰りレクリエーション（10/26）東芝未来科学館 ・川崎大師 参加者14人 ・料理教室（12/9）参加者21人 ・文集作成（3月） 		

高津（水曜日昼間コース）

開設期間	4月23日（水）～3月11日（水）10:00～11:30 合計35回		
ボランティア	日本語支援	19人（あいうえおの会）	保育 31人（高津保育ボランティア）
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕まつり（7/2）盆踊大会と夏祭り屋台体験 参加者52人 ・高津小での国際交流事業（10/29）学習者による各国文化紹介と給食交流 参加者31人 ・忘年パーティー（12/10）ゲームと学習グループによる出し物（歌・踊り）参加者43人 ・料理会（3/4）各国料理と日本料理を作り味わう 参加者45人 ・文集作り 学習者・ボランティア・職員も参加 76冊 		

高津（木曜日夜間コース）

開設期間	4月17日（木）～3月12日（木）19:00～20:30 合計35回		
ボランティア	日本語支援	20人（三本木の会）	保育 11人（高津保育ボランティア）
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期末交流パーティ（7/10）参加者44人 ・秋の課外イベント（11/16）「東芝未来科学館見学」参加者13人 ・2学期末交流パーティ（12/11）参加者59人 ・3学期末交流パーティ（3/12）参加者40人 		

宮前（金曜日昼間コース）

開設期間	4月18日（金）～3月13日（金）10:00～12:00 合計36回			
ボランティア	日本語支援	26人（宮前日本語ボランティアの会）	保育	6名（館保育ボランティア）
事業事例	・川崎折り紙体験（7/18）講師 市イメージアップ認定事業「からふる！」村瀬 成人 参加者18人 ・韓国・朝鮮民族衣装体験（10/3） 参加者19人 ・昭和記念公園にお出かけ（10/24） 参加者14人 ※宮前日本語ボランティアの会主催 ・市外国人市民代表者会議委員との懇談（10/31） 参加者17人 ・交流会（12/14） 参加者52人 ※保育ボランティア・OB含む			

宮前（水曜日夜間コース）

開設期間	4月16日（水）～3月4日（水）19:00～20:30 合計34回			
ボランティア	日本語支援	8人（日本語ボランティア「コスモスの会」）	保育	なし
事業事例	・各学習日の終了後ミーティング・交流会（7/16、12/10、3/4）			

多摩（水曜日昼間コース）

開設期間	4月9日（水）～3月11日（水）10:00～12:00 合計36回			
ボランティア	日本語支援	22人（多摩にほんごの会）	保育	5人（多摩保育グループ）
事業事例	・夏のイベント（7/9） 参加者40人 ・忘年会（12/17） 参加者38人			

多摩（金曜日夜間コース）

開設期間	4月18日（金）～3月6日（金）19:00～20:30 合計36回			
ボランティア	日本語支援	16人（たま語）	保育	なし
事業事例	・交流会（5/16） 参加者21人 ・盆踊り教室（7/18） 盆踊り、出しもの等 参加者31人 ・料理教室（10/17） のり巻き、みそ汁、ほうれんそうのごま和え等 参加者27人 ・忘年会（12/19） ダンス、出しもの、ゲーム等 参加者33人 ・日本文化を学ぶ（2/20） 茶道 参加者31人			

麻生（木曜日昼間コース）

開設期間	5月8日（木）～3月12日（木）10:00～11:30 合計35回			
ボランティア	日本語支援	27人	保育	5人（ジャンケンポン）
事業事例	・「道」DOUってなに？ part1 茶道、華道、剣道体験（7/10） 参加者34人 ・「道」DOUってなに？ part2 書道体験、年賀状作り（12/4） 参加者55人 ・みんなで楽しく（3/5） 参加者31人			

麻生（木曜日夜間コース）

開設期間	5月8日（木）～3月12日（木）18:30～20:00 合計35回			
ボランティア	日本語支援	10人	保育	なし
事業事例	・お料理会 Part1（7/17） 参加者11人 ・クリスマス会（12/11） 参加者15人 ・お料理会 Part2 お餅作り（3/12） 参加者13人			

学習者国別リスト

行	No.	出身国・地域	教文	幸		中原		高津		宮前		多摩		麻生		合計
			夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	
ア行	1	アイルランド														0
	2	アゼルバイジャン	1													1
	3	アメリカ				2	1	2	2	3	2	3	3	6	1	25
	4	アルゼンチン														0
	5	アンゴラ												1	1	2
	6	イギリス	2	1	2			1		1		1	1		1	10
	7	イスラエル				1		1	1	1						4
	8	イタリア	1												1	2
	9	イラン					1	1	3					1		6
	10	インド	35	7	2	2	2			1	1			1	1	52
	11	インドネシア	3			2	1	1	7	5				1		20
	12	ウガンダ										1				1
	13	ウクライナ														0
	14	ウズベキスタン													1	1
	15	エクアドル	2						1			1				4
	16	オーストラリア										1	1		1	3
カ行	17	ガーナ			3		1								4	
	18	カナダ	1				1		2	1	1	1		1	8	
	19	韓国	5	3	7	5	3	6	5	5	1	3		2	1	46
	20	カンボジア														0
	21	ギニア														0
	22	キューバ					2									2
	23	ケニア										1	1	1	1	4
	24	コートジボワール													1	1
	25	コロンビア							1	3	3					7
サ行	26	ジャマイカ									2			1	3	
	27	シリア						1		1				2	4	
	28	シンガポール				1							1	1	1	4
	29	スイス														0
	30	スペイン		1				1							1	3
	31	スリランカ	1			2	5	1	1			1	4	1		16
	32	セネガル									1					1
タ行	33	タイ	2	5	4	9	1	5	3	5	1	1		5		41
	34	台湾	15		2	17	10	5	3	1	2			2	1	58
	35	チュニジア														0
	36	中央アフリカ										2	2			4
	37	中国	84	44	15	31	21	39	19	10	6	31	25	19	10	354
	38	チリ														0
	39	ドイツ					6			1	1	1		1		10
	40	トルクメニスタン							1							1
	41	トルコ														0
	42	ナイジェリア	1												1	2
ナ行	43	日本	4												4	
	44	ニュージーランド	1										1		2	
	45	ネパール	7			1			1					1	10	
ハ行	46	ハンガリー		1											1	
	47	パキスタン					2		1						3	
	48	バングラデシュ		2	1			2					1	1	7	
	49	フィリピン	43	9	4	9	6	10	10	4	1	12	2	1		111
	50	フィンランド														0
	51	ブラジル	3	2	3	1		1			2					12
	52	フランス			1			1							1	3
	53	ブルガリア					1									1
	54	ベトナム	28	1	6	5	7	6	17	4	6	1	13	2		96
	55	ベネズエラ		1		1										2
	56	ペルー	2	5		1	1	1					1			11
	57	ベルギー										1	1			2
	58	ボリビア		2												2
	59	香港													1	1
マ行	60	マレーシア	2			2	1			1	1	2		3	12	
	61	ミャンマー (ビルマ)														0
	62	メキシコ		1												1
	63	モロッコ					1									1
ラ行	64	モンゴル	4								1				5	
	65	ラオス							1						1	
	66	リトアニア							1	1		1				3
	67	リベリア													1	1
	68	ルーマニア	1								1	1				3
	69	ロシア				1			2			1				4
合計			248	85	50	93	74	91	78	48	33	65	58	53	27	1,003
参加延べ人数			1237	952	335	713	538	900	1070	553	253	1312	408	473	194	8,938

Ⅱ 1 <参考>ボランティア交流事業

地域日本語ネットワークのつどい

日時	平成 26 年 11 月 29 日 (土) 13:30 ~ 16:30
会場	生涯学習プラザ 401 大会議室
内容	<p>識字・日本語学習活動に関わるボランティアと職員が一堂に会し、地域にも呼びかけて、川崎市の識字・日本語学習活動のあり方等について協議する。</p> <p>地域日本語教育推進事業の一環として実施され、地域日本語連絡会（識字学習活動担当職員と、活動に関わるボランティアの連絡協議組織）が中心となって企画・運営にあたった。</p> <p>テーマ：(第 19 回)「よりよい日本語学習をめざして～学習者のニーズとクラス運営～」 地域の実情や生活者としての外国人市民の状況・ニーズをいかに掴み、どうクラス運営に反映させるか。多文化交流を進めるにはどのような工夫があるか等、各々の取り組みを振り返りながら考えあい、よりよい活動とともに目指す。話し合いにあたっては「ワールドカフェ」の手法を用い、効果的で創造的な協議の場となるよう促す。</p> <p>①学習者ニーズの把握と交流イベント等への反映、充実。(ワールド・カフェでの意見交換) ②「学習者ニーズとクラス運営」(事例紹介)</p> <p>進行役：(一財)自治体国際化協会派遣 地域国際化推進アドバイザー 堀 永乃 (一社)グローバル人財サポート浜松 代表理事)</p>
参加者	72 人 (内訳：識字ボランティア 59 人、職員 12 人、地域日本語教育推進協議会委員 1 人)

地域日本語連絡会

回	月日	曜	内 容	会 場
1	4・19	土	情報交換・報告事項(新年度の事業開始状況等) 平成 26 年度役割分担について ホームページの運営について等 出席 29 人	中原市民館 第 2 会議室
2	5・24	土	情報交換・報告事項(新年度の事業開始状況等) 平成 26 年度役割分担について ネットワークのつどいについて 出席 27 人	高津市民館 第 4 会議室
3	6・21	土	情報交換・報告事項(各教室の状況等) 外国人市民アンケートの実施について ネットワークのつどい実行委員会 出席 26 人	中原市民館 第 2 会議室
4	7・19	土	情報交換・報告事項(各教室の状況等) 文化庁日本語教育大会について等 ネットワークのつどい実行委員会 出席 22 人	高津市民館 第 4 会議室
5	8・16	土	情報交換・報告事項(夏休み中の状況、連絡会出席の交通費負担について等) ネットワークのつどい実行委員会 出席 26 人	中原市民館 第 2 会議室
6	9・20	土	情報交換・報告事項(休み明けの状況、館まつり等の活動を報告する機会への参加について等) ネットワークのつどい実行委員会 出席 24 人	中原市民館 第 2 会議室
7	10・25	土	情報交換・報告事項(年末の交流会行事について等) ネットワークのつどい実行委員会 出席 24 人	高津市民館 視聴覚室
8	11・15	土	情報交換・報告事項(学習者数の状況、年末イベントの企画等) ネットワークのつどい実行委員会 出席 25 人	中原市民館 第 2 会議室
9	12・20	土	情報交換・報告事項(年末イベントの実施状況、行事に伴う料理と宗教上の制限について等) ネットワークのつどい実行委員会 出席 28 人	中原市民館 第 2 会議室
10	1・17	土	情報交換・報告事項(年始の状況、文集づくりについて等) ネットワークのつどい実行委員会 出席 21 人	多摩市民館 第 6 会議室
11	2・21	土	情報交換・討議(学習者の募集方法、ボランティアの長期休みの対応等) 出席 22 人	高津市民館 第 6 会議室
12	3・14	土	情報交換・討議 (学習者の減少傾向、ボランティア研修の参加率について等) 出席 22 人	教育文化会館第 2 会議室

Ⅱ 2 識字ボランティア研修

教文 識字ボランティア入門研修

主 題：識字ボランティアとして活動するための入門研修

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6	21	土	識字の理念、日本語識字ボランティアの概要を知る	日本語識字ボランティアとはどのようなものかを学ぶ	法政大学キャリアデザイン学部 教授 山田 泉
2		28	土	外国人市民の立場を体験学習し、外国人市民の視点・気持ちに沿った日本語支援とは何かを考え実践学習する	外国人市民とまち歩き	山田 泉 川崎区在住外国人市民 にほんごひろば ボランティア
3	7	5	土		日本語識字学習の場に提供する話題・教材の準備	山田 泉
4		12	土		異言語体験	ふれあい館職員 川崎区在住外国人市民
5		19	土		研修の振り返りと今後に向けて準備すべきことを知る	ふれあい館職員
6	8	20	水	識字・日本語ボランティアの実際について知る	「にほんごひろば」での活動の見学	職員 にほんごひろば ボランティア
7		27	水			
8	9	3	水		「にほんごひろば」での活動の実習体験	
9		10	水			
10		17	水			

●開設場所 教育文化会館 他

●時間帯 6月21日～7月19日 10:00～12:00 8月20日～9月17日 18:30～20:30

●対象 関心のある方

●参加者数 18人（男15人、女3人） ●延べ人数 131人

教文 識字ボランティア入門研修（2）

主 題：「わかる」から「できる」識字日本語学習へ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	8	23	土	日本語教育の標準的カリキュラム案の取り入れ方	can-do-statement の視点から識字日本語学習について考える	法政大学キャリアデザイン学部 教授 山田 泉
2		30	土	行動達成目標とそのため の活動例	行動達成目標と具体的活動例を知り、識字日本語活動を見直す機会とする。	中国帰国者定着促進センター 教務部 教務第一係長 安場 淳
3	9	13	土	識字日本語活動の今後について	「わかる」ではなく、「できる」 識字日本語活動とは？	拓殖大学 日本語教育研究所 講師 大越 貴子

●開設場所 教育文化会館 他

●時間帯 14:00～16:00

●対象 関心のある方

●参加者数 23人（男6人、女17人） ●延べ人数 44人

教文 識字ボランティア入門研修（3）

タイトル：識字ボランティアの意義と完結型学習

主 題：ボランティアとしての姿勢を見つめなおし、多文化共生に向けた活動に結び付ける

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3	1	日	識字学習に求められるボランティアの姿勢	ボランティアに求められる姿勢について理解を深める	地域日本語教育推進協議会委員 吉田 聖子
2		7	土	完結型学習	完結型の学習法の大切さを学び、具体的な指導法について学ぶ	(公社) 国際日本語普及協会 研修事業部部長 新野 佳子

●開設場所 教育文化会館 ●時間帯 10:00～12:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 12人（男6人、女6人） ●延べ人数 15人

幸 識字ボランティア研修（午前ブラッシュアップ）

主 題：学習者とボランティアが共に学びあう関係づくり

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2	18	水	日本語の特徴を知り、組み立て時のサポートを学ぶ	助詞の学習について進め方を共有する	T I J 東京日本語研修所 日本語教師 袴田 陽子
2		25	水	学習者の力を引き出す為の準備や工夫	目標項目を、話題、文法の側面と、コミュニケーション時の働きの面から見ていく	
3	3	4	水	日本人の学習への参加の仕方を考える	共生をめざす社会での、日本語ボランティアの役割を考える	
4		11	水	現場実践の「知恵の保存と継承」	幸日本語ボランティアグループの「知の財産」の継承と利用について考える	

●開設場所 幸市民館 ●時間帯 13:30～15:30

●対 象 幸市民館日本語ボランティア

●参加者数 13人（男3人、女10人） ●延べ人数 43人

幸 識字ボランティア研修

タイトル：「夜間ブラッシュアップ」

主 題：魅力ある学習活動のあり方について

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6	19	木	文法や語彙といった言語学的な学習ではなく、コミュニケーションを重視した日本語教育の方法を学ぶ	コミュニケーションのための日本語教育を学ぶ	国立国語研究所日本語教育研究・情報センター 教授 野田 尚史
2	7	31	木		外国人市民の現状や日本語学習について、意見・情報交換を行なう	ボランティア職員
3	10	16	木		外国人受け入れ政策を学ぶ	フェリス女学院・法政大学 非常勤講師 山田 貴夫
4	11	20	木		外国人市民と一緒に在留資格について学ぶことで、多文化共生を考える	
5	3	12	木		学んだことをもとに、学習者の現状を踏まえながら学習のあり方について話し合う	ボランティア職員

●開設場所 幸市民館 ●時間帯 18:30～20:30

●対 象 識字・日本語ボランティア及び関心のある方

●参加者数 12人(男3人、女11人) ●延べ人数 44人

中原 識字ボランティア研修(ブラッシュアップⅠ)

主 題：学習者の立場に立った識字学習活動の進め方を学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10	28	火	川崎市の識字学級が目指す効果的な学習の進め方(教え方)を学ぶ	はじめて識字ボランティアをする人を対象に～学習の進め方を学ぶ①	東京外国語大学 教授 荒川 洋平
2	11	11	火		はじめて識字ボランティアをする人を対象に～学習の進め方を学ぶ②	
3		25	火		はじめて識字ボランティアをする人を対象に～学習の進め方を学ぶ③	

●開設場所 中原市民館 ●時間帯 13:00～15:00

●対 象 識字ボランティア及び関心のある方

●参加者数 41人(男6人、女35人) ●延べ人数 101人

中原 識字ボランティア研修(ブラッシュアップⅡ)

主 題：日本語ボランティアとして、外国人市民との共生社会を推進する方法を学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	17	土	外国人支援について考える	日本語学級を豊かにするための、ボランティア同士のコミュニケーションについて学ぶ	武蔵野市国際交流協会日本語学習支援コーディネーター 宮崎 妙子
2	3	21	土	外国人との共生について考える	外国人市民の日本での定住に伴う困難さ～大人・若者・子どもそれぞれの世代において～	日本女子大学 教授 清水 睦美

●開設場所 中原市民館 他 ●時間帯 10:00～12:00

●対 象 識字ボランティア及び関心のある方

●参加者数 25人(男6人、女19人) ●延べ人数 29人

中原・高津・宮前 識字ボランティア中部地区合同研修

主 題：日本語ボランティアとして、外国人市民との共生社会を推進する方法を学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3	21	土	外国人との共生について考える	外国人市民の日本での定住に伴う困難さ～大人・若者・子どもそれぞれの世代において～	日本女子大学 教授 清水 睦美

- 開設場所 高津市民館 ●時間帯 10:00～12:00
- 対 象 識字ボランティア及び関心のある方
- 参加者数 18人 ●延べ人数 18人

高津 識字ボランティアブラッシュアップ研修1

主 題：識字ボランティアとしてのスキルアップをはかろう

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10	8	水	日ごろの活動で感じている日本語学習支援についての疑問や不安を共有し、解決する	入門・初級学習者の指導方法 なぜ日本語学習で助詞の習得が必要	T I J 東京日本語研修所 日本語教師 袴田 陽子
2	11	12	水		学習者が主体的に語り合うための日本語学習の具体的な方法について学ぶ	
3	1	21	水		学習者にもっと話してもらうために・・・ ～ボランティアとしてのしかけ作り～	東京外国語大学 教授 荒川 洋平

- 開設場所 高津市民館 ●時間帯 14:00～16:00
- 対 象 市民館の日本語ボランティア
- 参加者数 26人（男6人、女20人） ●延べ人数 63人

高津 識字ボランティアブラッシュアップ研修2

主 題：識字ボランティアとしてのスキルアップをはかる

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10	5	日	日本語教室の状況報告と課題	各グループの課題を共有し、解決に向けた話し合い、インタビューシートの見直し	三本木の会 日本語ボランティア
2	1	25	日	初級学習者にわかってもらえる日本語、学習者に魅力的な教室づくり	話題選びの工夫、ボランティアの勉強法とスキルアップの方法	国士館大学交換留学生日本語プログラムコーディネーター兼 日本語講師 山形 美保子
3	2	1	日		自然な日本語がどういうものかペアワークを通して体験し、観察する	

- 開設場所 高津市民館 ●時間帯 13:30～16:30
- 対 象 活動中の日本語ボランティア
- 参加者数 21人（男6人、女15人） ●延べ人数 53人

宮前 識字ボランティア研修（ブラッシュアップⅠ）

主 題：ボランティアの素質向上、日本語学習支援のさらなる充実を目指す

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11	7	金	グループ学習の進め方を考える	活動事例集を用い、トピックごとの計画の立て方や活動の進め方などについて学ぶ。	日本語教育学会員 人材育成コーディネーター 吉田 聖子
2		14	金		「計画・学習活動・振り返り」の一連の模擬活動を通してのグループ学習の実践事例研究	

- 開設場所 宮前市民館 ●時間帯 14:30～16:30
- 対象 関心のある方
- 参加者数 25人（男4人、女21人） ●延べ人数 48人

宮前 識字ボランティア研修（ブラッシュアップⅡ）

主 題：ボランティアの素質向上、日本語学習支援のさらなる充実を目指す

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2	20	金	学習者のニーズを把握する	学習者が何を求め伝えようとしているのかを引き出すコミュニケーション法について学ぶ	LTC友の会（杉並区のボランティア日本語の会） アドバイザー 山形 美保子
2	3	6	金	ボランティアが自信を持って学習支援に取り組めるよう、疑問や不安を解消する	①文法②文法知識は背景知識であり、学習者に「授業」する為のものではないことの確認	T I J 東京日本語研修所 日本語教師 袴田 陽子
3		13	金		日本語を共に楽しみ、共に学ぶことの大切さを学ぶ	

- 開設場所 宮前市民館 ●時間帯 14:00～16:00
- 対象 関心のある方
- 参加者数 22人（男5人、女17人） ●延べ人数 54人

宮前 識字ボランティア研修（ブラッシュアップⅢ）

主 題：識字ボランティアのスキルアップ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3	11	水	識字ボランティアのスキルアップ	共通語がない学習者を受け持った場合の学習の進め方	（公社）日本語教育学会 人材育成コーディネーター 吉田 聖子
2		18	水		レベル差のある学習者を1つのグループで学習する場合の進め方	

- 開設場所 宮前市民館 ●時間帯 18:00～20:00
- 対象 日本語ボランティア活動中の方、関心のある方
- 参加者数 19人（男4人、女15人） ●延べ人数 33人

多摩 識字ボランティアブラッシュアップ研修

主 題：識字ボランティアとしてのスキルアップを図る

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11	29	土	よりよい日本語学習をめざす	川崎市地域日本語ネットワークのつどい ワールドカフェで考えよう	地域国際化推進アドバイザー 堀 永乃
2	12	3	水	日本語の発音の特徴を知る	学習者にとって聞き取りづらい日本語の音声・発音についての効果的な伝え方を学ぶ	専修大学 教授 王 伸子
3		10	水	ボランティア経験の実践から学ぶ	ボランティアとしてできること、学級のあり方、効果的な学習方法について考える	にほんごの会くれよん 茂木 真理
4	1	14	水	学習者のニーズをとらえる	学習者のニーズをくみ取るためのインタビュースキルや、学習の進め方について学ぶ	NPO 法人日本語教育研究所理事 春原 憲一郎
5	2	4	水	識字理念を実践に生かす	川崎市の識字理念を実践に活かしている事例を聞き、話し合う ※麻生市民館との合同研修	拓殖大学日本語教育研究所 講師 大越 貴子

●開設場所 多摩市民館 他 ●時間帯 主に14:00～16:00

●対 象 多摩市民館で識字ボランティアをしている方

●参加者数 35人(男12人、女23人) ●延べ人数 89人

麻生 識字ボランティア入門研修

タイトル：市民館でボランティアを始めよう

主 題：あさおにほんごクラスでのボランティアに必要なことを学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	29	木	地域で生活する外国人市民の生活を「日本語」を通して支援し、外国人市民と日本人市民が共に生きるという川崎の識字理念を身に付け、それを実践できるボランティアを育てる	川崎市に住む外国人市民が直面する状況を知る	拓殖大学日本語教育研究所 講師 大越 貴子
2	6	5	木		参加者自己紹介、ボランティアとしての心構えを知る	(公財)かわさき市民活動センター 理事長 小倉 敬子
3		12	木		あさお日本語クラスの見学	職員
4		19	木		見学の振り返り、あさお日本語クラスの話聞く、川崎市の識字理念を学ぶ	あさお日本語クラス(朝・夜) ボランティア 職員
5		26	木		研修の振り返りと、今後の活動について、グループ活動の視点から考える	人材育成プロジェクト コーディネーター 吉田 聖子

●開設場所 麻生市民館 ●時間帯 主に14:00～16:00

●対 象 識字ボランティアの活動を希望する方

●参加者数 17人(男3人、女14人) ●延べ人数 74人

麻生 識字ボランティア・ブラッシュアップ研修

主 題：活動の現状を見直してスキルアップをし、今後活かす

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11	6	木	日本語が話せる話せないにかかわらず、全員参加できる活動を目指す	入門者も上級者も日本人も楽しめる活動を体験し、学ぶ	東京女子大学 教授 松尾 慎
2		27	木		全員参加型の活動を実践し、それを振り返り、活動のバリエーションを得る	
3		20	木	充実した活動を目指す	現在の活動を見直し、魅力ある活動とは何かを考える	人材育成プロジェクト・コーディネーター 吉田 聖子
4		29	土	他区のボランティアと情報共有を図る	「地域日本語ネットワークの集い」に参加し、他区のボランティアの様子を知り、つながりを作る	地域国際化推進アドバイザー 堀 永之
5	2	4	水	識字理念を確認する	川崎市の識字理念を実践に活かしている事例を聞き、話し合う ※多摩市民館との合同研修	拓殖大学日本語教育研究所 講師 大越 貴子

●開設場所 麻生市民館 他

●時間帯 ①② 13:30～15:30、③ 18:30～20:30、④ 13:30～16:30、⑤ 14:00～16:30

●対象 麻生市民館で識字ボランティア活動をしている方

●参加者数 32人（男5人、女27人） ●延べ人数 85人

Ⅱ 3 社会人学級

1. 趣 旨

中学校は卒業しているが、いろいろな事情で十分に学習できなかった人が、中学校初級程度の学力を身につけるとともに、学習の楽しさを知り、自分で学んでいける力を培うことをねらいとする。

2. 対 象

市内在住または在勤の15歳以上の方

3. 開催期間・時間

5月14日(水)～3月11日(水) 18:30～20:30

4. 会 場 教育文化会館

5. 指導方針

原則として、国語・数学を中心に、週2回の学習で、いずれも中学校程度の学習を行なうが、学習者の学力・要望に応じて弾力ある学習展開を行なう。

6. 科目・内容・回数・講師

科 目	主な学習内容	回数	講師・助言者など
国語	言語、詩、短歌、俳句、漢詩、随筆、小説、論語、読書、輪読、作文、和歌、童話、漢字、文集作成	30	元教師 藤原 治子
数学	折り紙と数字、正の数・負の数、文字式、方程式、確率、相似等数の性質	30	元教師 清水 謙二
特別講座	音楽 歌唱を中心に秋の歌・懐かしい歌・現代の歌等 魔王について	1	地域の音楽指導者 今泉 京子 大平 美樹
	英語 英会話入門「あいさつ・自己紹介」	1	元教師 菊池 鐵也

7. 受講者数

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男	0	0	0	1	0	1	3	1	6
女	0	0	0	0	1	9	9	1	20
計	0	0	0	1	1	10	12	2	26

8. 延べ人数 853人

Ⅱ 4 障がい者社会参加学習活動

教文 障がい者社会参加活動（教文青年教室）

主 題：共に生きる地域社会を築くために

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	11	日	グループワークとコミュニケーション1	自己紹介、班決め、名札づくり	ボランティアスタッフ
2	6	8	日	社会と文化にふれる1	日帰りバス旅行（大船フラワーセンター）	
3	7	20	日	社会と文化にふれる2	日帰りバス旅行（油壺マリンパーク）	
4	9	14	日	社会と文化にふれる3	東芝未来科学館へ見学	
5	10	19	日	スポーツと仲間づくり1	スポーツ交流会（JFE水江体育館）	
6	11	9	日	グループワークとコミュニケーション2	調理実習	
7	12	14	日	グループワークとコミュニケーション3	クリスマス会	
8	1	11	日	自己表現	初詣と新年会（カラオケ）	
9	2	22	日	スポーツと仲間づくり2	ボウリング交流会	
10	3	8	日	グループワークとコミュニケーション4	今年度の反省と来年度の計画づくり	

●開設場所 教育文化会館 他 ●時間帯 主に10:00～12:00

●対象 養護学校、特別支援学級の卒業生

●参加者数 29人（男21人、女8人） ●延べ人数 227人

幸 サンデーフレンドパーク

主 題：地域の仲間と共に学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	18	日	障がいのある人たちがさまざまな活動を通して、社会参加に必要な基礎的な知識・技術の向上を図り、ボランティアなど地域の人たちと共に学べる機会を設け、地域社会における仲間づくりを図る	新年度顔合わせ オリエンテーション・自己紹介	ボランティアスタッフ
2	6	15	日		うどんづくり（料理）	
3	7	27	日		遠足①水上バスで行く浅草寺	ハッピークラウンメンバー
4	9	21	日		クラウン体験	
5	10	12	日		スポーツ（とどろきアリーナ） ※中原・宮前市民館との合同プログラム	ボランティアスタッフ
6	11	16	日		遠足②東京タワー	
7	12	21	日		クリスマス会（料理、ゲーム、飾りつけ） ※中原市民館との合同プログラム	
8	1	18	日		障がい者スポーツ	竹内 啓也
9	2	15	日		バスハイク（筑波宇宙博物館）	ボランティアスタッフ
10	3	15	日		終了式	

●開設場所 幸市民館 ●時間帯 主に13:30～15:30

●対象 主に知的障がいのある方

●参加者数 8人（男6人、女2人） ●延べ人数 49人

中原 ヤングジャンプセミナー

主 題：学びを通じて仲間との交流を深める

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	4	20	日	事業趣旨の理解と仲間作り	オリエンテーション・自己紹介 室内レクリエーション	ボランティアスタッフ
2	5	18	日	集団行動を通じての学び	遠足①新横浜ラーメン博物館見学	
3	6	15	日		バスハイク① 葛西臨海水族園	
4	7	27	日	ものづくりへの関心を深める	午前：料理（冷やし中華） 午後：合宿の話し合い	
5	9	20 21	土 日	集団生活を通じての学び	合宿（青少年の家） レクリエーション 他	
6	10	12	日	運動を通じての健康づくり	スポーツを楽しむ（とどろきアリーナ） ※幸・宮前市民館との合同プログラム	ボランティアスタッフ 職員 とどろきアリーナ職員 日本フロアホッケー連盟
7	11	16	日	集団内のコミュニケーションを通じての学び	午前：合唱 午後：クリスマス会の話し合い	ボーカルトレーナー 長井 勝 ボランティアスタッフ
8	12	21	日	共同作業を通じての学び	クリスマス会（料理、ゲーム、飾りつけ） ※幸市民館との合同プログラム	ボランティアスタッフ
9	1	18	日	集団行動を通じての学び	バスハイク② 生命の星・地球博物館	
10	2	22	日		遠足②東芝未来科学館	
11	3	16	日	振り返りと来年度への展望	まとめ・振り返り	

●開設場所 中原市民館 他

●時間帯 主に 9:30～14:00

●対象 障がいのある方

●参加者数 27人(男17人、女10人) ●延べ人数 307人

高津 ふれんど高津

主 題：地域のみならずともに学ぼう！

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	25	日	参加者同士が知り合う	顔合わせ、グループ決め、リーダー選挙	ボランティアスタッフ
2	6	22	日	料理を通して親睦を深める	料理実習（冷し中華、焼きそば、野菜炒め）	
3	7	27	日	課外での集団行動を通じた学び	電車で、電車とバスの博物館見学	
4	9	28	日		バスハイク（しながわ水族館と都庁展望室）	
5	10	26	日	身体を動かす学び	運動会（中央支援学校）	
6	11	23	日	課外での集団行動を通じた学び	バスハイク（辻堂海浜公園）	
7	12	22	日	共同作業を通じた学び	クリスマス会（朗読、クリスマスソング合唱、ビンゴ大会）	
8	1	25	日	課外での集団行動を通じた学び	溝口神社初詣と今年の目標発表	アイコンシャス 吉川 ちひろ ボランティアスタッフ
9	2	22	日	ものづくりへの関心を深める	パステルアート体験	
10	3	22	日	1年間の振り返り	影絵鑑賞と修了式	

●開設場所 高津市民館 他

●時間帯 主に 10:00～14:00

●対象 主に区内在住の知的障がいのある方

●参加者数 30人(男22人、女8人) ●延べ人数 259人

宮前 みやまえウインズ

主 題：ノーマライゼーションの理念に基づく地域社会の実現を目指す

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	11	日	様々な体験を通して余暇活動の充実を図るとともに、仲間やサポーターとのつながり合いを強める	ミーティング（自己紹介、リーダー選挙、グループ決め、年間計画について）	ボランティアスタッフ
2	6	8	日		チームの旗作り、工作（スライム作り）	
3	7	13	日		バスハイク（マザー牧場）	
4	9	14	日		工作（ハチマキ作り、プラ版作り）	
5	10	12	日		スポーツ大会（幸市民館、中原市民館のメンバーと交流）	ボランティアスタッフ 職員 とどろきアリーナ職員 日本フロアホッケー連盟
6	11	9	日		大道芸体験、クリスマス会準備	ボランティアスタッフ おやじ考 久保田 洋治、 岡本 嘉夫
7	12	14	日		クリスマス会	ボランティアスタッフ
8	1	11	日		バスハイク（三津シーパラダイス）	
9	2	8	日		野外活動（青少年の家で料理・レクリエーション）	
10	3	8	日		修了式	おやじバンド 洗足学園音楽大学生
課外活動	8	24	日	夏休み子どもあそびランドへボランティアとして参加	ボランティアスタッフ	

- 開設場所 宮前市民館 他
- 時間帯 10:00～15:00
- 対象 区内在住の障がいのある方
- 参加者数 26人（男17人、女9人）
- 延べ人数 221人

多摩 青年教室

主 題：地域の人々との活動を楽しみながら学ぼう

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	24	土	メンバーやボランティアとともに多様な経験をしなが、余暇を充実させ仲間づくりを図る地域の人々と交流し様々なことを学ぶことで社会参加を実現する	オリエンテーション	ボランティアスタッフ
2	6	21	土		アート体験①	専門指導者 ボランティアスタッフ
3	7	19	土		アート体験②	
4	9	13	土		秋の交流会	ボランティアスタッフ
5		27	土		バスハイク① （ぶどう狩り、和菓子工場見学）	
6	11	1	土		バスハイク② （クラフト体験、動物とのふれあい等）	
7	12	20	土		冬のお楽しみ会	専門指導者 ボランティアスタッフ
8	1	17	土		料理体験① パスタづくり 学びのフェアに向けて準備	
9	2	21	土		料理体験② 中華料理づくり 学びのフェアに向けて準備	
10	3	14	土		たま学びのフェア参加	ボランティアスタッフ

- 開設場所 多摩市民館 他
- 時間帯 10:00～15:00
- 対象 区内在住、在勤の障がいのある方
- 参加者数 40人（男22人、女18人）
- 延べ人数 385人

多摩 ボッチャをやるっちゃ！2

主 題：ボッチャを通じて、参加者同士の交流と親睦を図る

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10	19	日	障がいの有無に関わらず、「ボッチャ」というスポーツを通じて、参加者同士が勝ち負けの喜びや悔しさを共有し、相互理解を深める場をつくる	ボールを「触る」「握る」「投げる」「拾う」「転がす」などの基本動作から、身体を動かすことを学ぶ。他の参加者とボッチャをする楽しさを感じ合う	ボッチャ競技者 秋元 妙美
2		26	日		実際のルールに則って、チームにわかれてミニゲームを行う	
3	11	9	日		ボッチャ大会の見学（横浜ラポール）	
4		16	日		試合形式（トーナメント制）を実践する	
5		23	日			

●開設場所 多摩市民館 他 ●時間帯 主に13:00～15:00

●対象 身体障がいのある方・健常者

●参加者数 16人（男9人、女7人） ●延べ人数 41人

麻生 麻生青年教室

主 題：地域の仲間と共に余暇活動を楽しもう

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5	18	日	仲間とボランティアとの新しい発見・体験・出会いが得られる場となることを目指す 地域での体験活動や交流等の学習機会を提供することを通して、障がいのある人の社会参加促進を図る	開講式・マジックショー	新百合マジック 松澤 フキ子 ボランティアスタッフ
2	6	22	日		ボーリング大会 or 料理	ボランティアスタッフ
3	7	20	日		マグカップ作り	
4	9	21	日		梨狩り	
5	10	19	日		ハイキング（王禅寺中央公園）	
6	11	23	日		カラオケ大会 or 料理	
7	12	21	日		クリスマスパーティー	
8	1	17	土		餅つき準備	
9		18	日		餅つき	
10	2	15	日		バスハイク（いちご狩り）	
11	3	15	日		閉講式・音楽会	

●開設場所 主に麻生市民館 ●時間帯 主に10:00～15:00

●対象 主に知的障がいのある方

●参加者数 32人（男26人、女6人） ●延べ人数 282人

Ⅱ 5 障がい者ボランティア研修

生涯学習推進課 障がい者社会参加学習活動ボランティア研修

主 題：障がい理解とボランティア活動について
 ～インクルージョン社会におけるボランティアのあり方～
 青年教室活動報告会 2014

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	10	土	障がい理解を学ぶとともに、市内7館の特色ある事業の交流を通して新たな視点・気づきをうながし、職員・ボランティアのスキルアップを図る	障がい理解とボランティア活動について ～インクルージョン社会におけるボランティアのあり方～ 青年教室活動報告会 2014	田園調布学園大学 教授 鈴木 文治

- 開設場所 宮前市民館 ●時間帯 10:00～12:00
- 対 象 障がい者社会参加学習活動のボランティア及び職員
- 参加者数 29人

